



後期授業スタート!

☆心機一転、新学期の始まりです!

本日から新学期が始まります。みなさんにとって、充実した学期となることを祈っています。「夢・実現」を目指し、目標を決めて実践している人は是非、継続してください。まだ目標を決めていない人は、何か目標を決めて努力して欲しいと思います。特に、年度当初から努力すべき目標として伝えている ①授業をしっかりと受ける(学力をつける)、②学校を休まない、③自己PRできるものをつくるは確実に実践して欲しいと思います。これらは、みなさんの進路実現を有利にするために最低限必要な条件であることを忘れないでください。

後期個別学習指導開始!

申込期間:10月5日(水)~10月12日(水)

後期個別学習指導を10/20(木)から実施します。本日、後期個別学習指導申込書を配付します。必要事項を記入し、10/12(水)までに担任へ提出してください。原則として前期申込者は後期も継続して行いますが、後期も継続して行く意思があるかを確認するために再度申し込んでください。後期から入学年次生も申し込むことができます。

☆よい成績を修めよう!

本校の評価は絶対評価で、科目によっては、学習状況が良ければ、全員評定5も可能です。一方で、提出物を満足に出さな

就職試験の近況

就職試験における受験者の合否状況をお知らせします(10/4日現在)。現在、受験者35名中26名内定で、結果待ち6名という状況です。今年も卒業年次生は夏休み返上で面接練習を何度も繰り返し、予想されていない質問にもしっかり受け答えができるようになった練習の結果だと思えます。残念ながら不合格だった先輩の理由を分析しますと、一般常識や基礎学力が不足していたり、適性検査(実技含む)がその職場が要求するものとマッチしなかったなどが挙げられます。このことから、志望先を考える際に、就職先の仕事内容が自分の能力や適性と本当にマッチする仕事かどうかをじっくり検討すること、日頃から「読む・書く・計算する・暗記する」といった学習の基礎・基本をおろそかにしないことが対策として考えられます。また、高校時代に頑張ったことがなければ自分をアピールすることができません。面接で話す時にアピール材料が不足している就職希望者(入・中間年次生含む)は、今できることから取り組んでいきましょう。

い、テスト勉強もしないようでは、簡単に評定2がついてしまいます。評定2は他の高校では、あまり出ませんので、取った人は、他校生と同じ土俵では戦えません。新学期のスタートにあたって、新たな気持ちで後期の学習をスタートさせましょう。最初が肝心です。

(入試対策) 小論文について

小論文は、与えられたテーマや資料に基づき、それに対する自分の意見や判断の正当性を論理的に伝える文章です。小論文には出題傾向があるので、過去問を必ず調べ、出題形式になれ、傾向をつかむことが必要です。課題論述型(「○○について述べよ」という設問が多い。与えられたテーマに対して、自分の意見を述べる)、資料読解論述型(大学・志望学部の専門に関する資料などが与えられ、それを分析と自分の考えを展開する)のいずれも、文字数は600~800字、制限時間は50~90分で出題されることが多いです。設問に「○○の立場で述べよ」といった条件が提示される場合もあ

るので、設問はしっかりと読むことが大切です。時事問題や志望学部や系統に関する事柄は、日ごろから新聞や関連雑誌などで押さえておくことよいでしょう。気になるテーマについては書く練習をしておきましょう。小論文はまず設問をよく読み、出題者が何を求めているかをつかむことが大切で、設問のテーマに関する自分なりの主張を提示し、その理由を展開していき、こまごまと高い評価につながります。出題の条件から外れずに論理を展開するためには、構成メモの作成が有効です。実際に志望校の過去問で構成メモを作ってみましょう。その際、どういう順で文章を組み立てると

読み手にうまく伝わるかを意識しましょう。

《構成メモの作り方》

○序論(問題点の提示)
設問に対し、初めに思ったことや考えたことを素直に書き出す。実生活における具体例を出すのもよい。
○本論(問題点解決の方策)
序論を受けて、キーワードから流れを整理し、本論の展開を考える。その際、設問の条件(「賛成と反対の立場から」など)は必ず満たすこと。
○結論(展望)
自分の主張や提言を最後にまとめると、読み手の印象に残る。全体を通じて論旨がずれないように気をつけよう。